

2023 G7 仙台科学技術大臣会合 推進協力委員会 実施事業概要案

令和5年4月17日(月) 第4回委員会

1. G7 仙台科学技術大臣会合開催概要

1

【開催日程及びメイン会場】

令和5年5月12日(金)～14日(日)

秋保地区「ホテル佐勘」

【参加者】

G7各国及び欧州連合(EU)、関係機関等

【テーマ】

オープンサイエンス

研究セキュリティ・インテグリティ

科学技術国際協力 等



2022年にドイツで開催されたG7科学技術大臣会合
出典：BMBF/Hans-Joachim Rickel

【期間中のスケジュール】

- 5月12日(金) (午後)
 - ・大臣会合、公式写真撮影
 - ・市長等からの歓迎メッセージ、展示案内
- 5月13日(土) (午前)
 - ・大臣会合(午後)
 - ・公式昼食会、議長国記者会見 (会合成果発表)
 - ・エクスカージョン
- 5月14日(日) (午前)
 - ・エクスカージョン
 - ・量子技術に関するハイレベルフォーラム (東北大学)

2. 2023 G7仙台科学技術大臣会合 推進協力委員会

【設立目的】

令和4年9月に仙台市での開催が決定したため、地域一体となり、会合の準備・開催支援、地元歓迎機運の醸成を行い、下記のとおり国内外に向けて発信する

- 次世代放射光施設「ナノテラス」をはじめとする学術資源の集積や、それら最先端技術を活用したまちづくりの取り組みなどを強力に発信し、「学都・仙台」としての都市ブランドを世界に向けてアピールする。
- 東日本大震災から11年が経過した仙台・東北のこれまでの復興のあゆみと世界からいただいた支援への感謝を発信する。

次世代放射光施設「ナノテラス」



【構成団体】

仙台市、宮城県、国立大学法人東北大学、宮城県警察本部、第二管区海上保安本部、地元経済団体等



3. これまでの主な取り組み①

会合開催支援事業

〔12月〕警備・交通・ライフライン関係機関連絡会



- 実施：12月22日
- 参加者：94名
警備・交通・ライフラインに関する団体、民間事業者等

〔1月〕開催100日前記念シンポジウム



- 実施：1月31日
- 参加者：約170名
- 概要：G7の意義や「NanoTerasu」をはじめとする先端技術が仙台に与える影響を考察するイベント、警備に関する特別公演

開催機運の醸成事業

〔12月～5月〕G7巡回パネル展示



- 会場：
市役所本庁舎1階ロビー、秋保・里センター、藤崎本店、スリーエム仙台市科学館、AER5F展示スペース、仙台国際センター、区役所・総合支所ほか

〔2月～〕各種広報グッズ配布



クリアファイル



缶バッジ

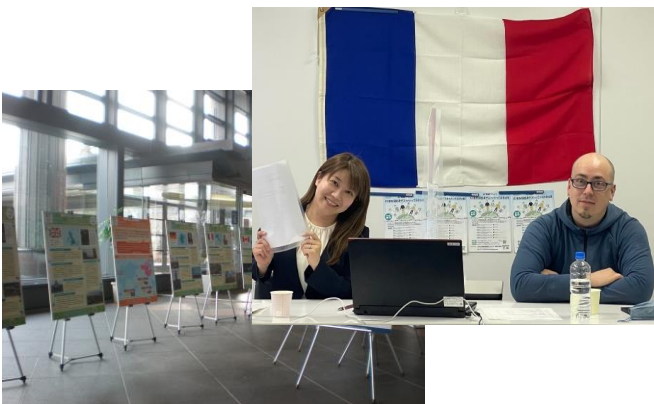


ボールペン



3. これまでの主な取り組み②

〔3月～4月〕 G7参加国の魅力発信セミナー・パネル展示



- 実施：3月～5月
- 概要：
日本で暮らすG7各国出身の講師によるオンラインセミナー、自国紹介パネルを国際センター等へ展示

〔3月～〕 記念フラッグ等の市中心部の装飾



- 実施：3月～5月
- 場所：
仙台駅西口・東口、仙台駅前ガス灯、青葉通り、定禅寺通り、東北大学青葉山キャンパス等
※フラッグ・仙台駅アーチは全国都市緑化仙台フェアと連携

〔4月〕 中高生向けイベント（開催1か月前記念イベント）

- 実施：4月16日
- 概要：
中高生に人気があるQuizKnock伊沢拓司氏、須貝駿貴氏による、「科学」と「G7」に関するトークセッションやクイズ大会

歓迎・情報発信事業

〔4月～〕 秋保地区への歓迎装飾

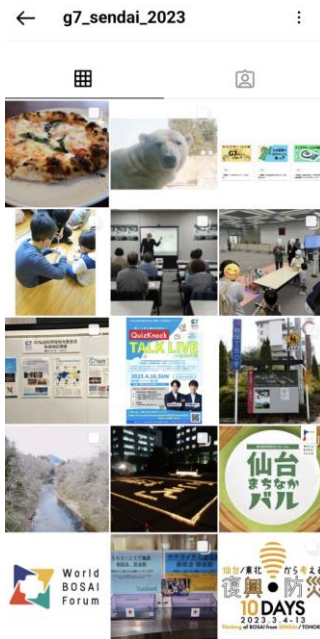


- 実施：4月13日
- 場所：秋保地区

3. これまでの主な取り組み③

〔1月～〕G7仙台特設サイト・SNSによる情報発信

- 実施：1月27日～（英語：2月22日）
- 概要：会合概要や観光情報、子供向けページ、各種活動報告等を関係機関と連携し情報発信



おもてなし環境整備事業

〔2月～〕道路修繕、除草、交通協力依頼看板設置等

- 実施：2月～5月 ●場所：秋保地区、視察先等

〔3月〕語学ボランティア研修・運営



- 実施：3月21日・26日研修
4月23日団結式
- 総数：43名
- 活動場所：仙台駅、仙台空港、プレスセンター、各視察先

〔4月〕おもてなし研修



- 実施：①4月12日、②16日
- 概要：①温泉旅館組合新入社員対象インバウンド研修
②秋保地域機運醸成セミナー
- 参加者：①22名、②80名

4. 会合期間中の取り組み①

6

会合開催支援事業

総合インフォメーションデスク等設置

- 場所: 会合会場、仙台駅
- 概要: 来仙する関係者へ観光情報等を提供



歓迎・情報発信事業

仙台駅での東北の魅力発信

- 場所: 仙台駅
- 概要: 東北の特産品を販売し、観光情報を発信する観光物産展を開催



青森県青森市



岩手県宮古市



秋田県湯沢市



宮城県栗原市



山形県長井市



福島県郡山市

4. 会合期間中の取り組み②

会合会場等でのPRブースの設置

- 場所: 会合会場、メディアセンター
- 概要:
 - ① 秋保や仙台・東北の観光地等の紹介ブース
 - ② 先端技術を活用した企業等の展示案内
 - ③ 復興状況についての動画放送



地元歓迎事業(アキウナイト)

- 実施日: 5月12日、13日
- 実施場所: 会合会場
- 参加者: 各日40名程度
- 概要:

仙台のお酒、食の提供
秋保地区の田植え踊りや東北6県のお祭りを紹介



4. 会合期間中の取り組み③

エクスカーション、スタディツアー

公式エクスカーション(※各国閣僚及び会合参加者が対象)

科学技術を活かした本市のまちづくりを世界に向けて発信し、東日本大震災からの復興の歩み、世界への感謝の気持ちを伝える。



(震災遺構荒浜小学校)



(津波広報ドローン)



(イメージ写真)

(NanoTerasu)

移動のバス車内では 復興状況の紹介動画



秋保の子供たちによる G7国歌斉唱の歓迎動画



(練習中)

プレス向けエクスカーション・スタディツアー

国内外から訪れる報道関係者や会合関係者を対象に、観光地や文化、伝統工芸等を紹介するバスツアーを4コースご用意。

秋保工芸の里



①秋保の伝統と自然を体感する旅



全国都市緑化仙台フェア



②杜の都・仙台の豊かな「みどり」を知る旅

松島遊覧船



③日本三景・松島と国宝を巡る旅

アクアイグニス仙台農業ハウス

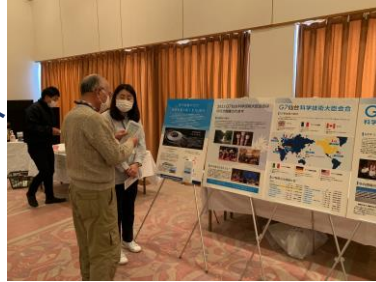


④宮城沿岸の科学技術に触れる旅

5. 会合開催に伴う秋保地区との連携 及び本市の危機管理体制

秋保地区地域活動のつどい出展

- 時期：1月28日
- 巡回パネルを会場に設置し、秋保の住民へ会合の概要を紹介



関係団体説明会

- 時期：3月1日、4日
- 参加者：各町内会長等66名
- 会合概要や期間中の交通整理実施予定等について説明



地元住民向け説明会

- 時期：4月8日
- 参加者：湯元地区28名、秋保・馬場地区13名
- 会合概要や期間中の交通整理実施予定等について説明



危機管理体制の整備に向けた取組

- ①宮城県警察本部内にサミット警備対策室設置（令和4年11月）
- ②危機対策本部初動対応訓練の実施（4月）
- ③仙台市・宮城県警合同テロ対策実動訓練の実施（4月）
- ④テロ災害発生時における初動対策チェックリスト作成
- ⑤G7会合及び本市関連の大規模イベント等におけるテロ災害発生時の連絡体制等の整備

具体的な警戒体制

- ①危機管理レベルの設定と危機警戒本部の設置
- ②市施設、関連イベント等の警戒強化



(イメージ写真)